

令和 3 年 度

事 業 計 画 書

収 支 予 算 書

(令和 4 年 3 月 2 8 日 補正)

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 道 央 農 業 振 興 公 社

第1 基本方針

道央地域の農業は、基幹産業として食料供給を担うことはもとより、地域の様々な産業とも密接に結びつく経済の柱のひとつであります。

このような地域社会としての役割を發揮するためには、安定的かつ持続性のある農業経営を実現するとともに、多様な担い手が生き活きと活躍できる環境づくりを推進することが重要です。

当公社では、公益目的事業である「担い手別の育成事業」により、持続的かつ安定的な経営を実践できる能力を有する新規就農者の育成や地域農業の中核を担うことができる担い手の育成・確保を行い、「農用地の利用調整事業」では、地域資源となる農地の効率的な利用や不耕作地発生の未然防止及び新規就農者の就農地確保を行うことなどを事業の中心に据えて進めてまいります。

また、地域農業が有する様々な課題にも関係4市及び道央農業協同組合などの関係機関・団体と連携し解決に向けた取り組みを推進します。

さらに、公益性の發揮にも十分配慮し、地域の農業者をはじめ、関係機関・団体からの信頼と付託に応えるべく充実した活動に努めてまいります。

第2 事業計画書

【公益目的事業】

1 担い手別の育成事業

道央地域の農業・農村の維持活性化に不可欠な農業の担い手を育成するため、関係機関・団体と連携のもと、次の事業に取り組みます。

(1) 相談・支援事業

認定農業者や新規就農者の育成、農業生産法人の設立支援、効率的な農地利用調整のため、関係機関・団体で構成する担い手支援センター機能による各種相談・支援を行うとともに、国をはじめとする各種施策等を活用した農業者支援を推進します。

(2) 研修関連事業

地域の農業者の技術向上と経営安定のため、専門的知識、技術および経営管理に関する各種研修を実施するとともに、新規就農者の育成と若手農業者のリーダー養成のための研修を実施します。

- ① 技術・経営等に関する研修会
- ② 新規就農研修
- ③ ニューファーマー育成研修
- ④ 道央農業塾

また、特に新規就農者の安定した営農継続に向け、関係機関・団体と連携・情報共有により適切な支援に努めます。

(3) 若手担い手交流支援事業

独身農業者及び後継者のパートナーを確保・支援するため、農外の独身者との交流の場を提供します。

(4) 農福連携支援事業

近年の労働力の不足への対応策として、また、道央農業の多面的機能の発揮の観点から、農業と福祉の橋渡しをできる人材を育成・派遣することにより、道央地域の農福連携への取り組みを支援します。

- ① 道央地域農福連携推進連絡協議会による広域的な情報共有
- ② 農業版ジョブコーチの育成・派遣支援

2 農用地の利用調整事業

地域農業の生産基盤である農地の有効活用を推進するため、関係機関・団体と連携し、次の事業に取り組みます。

- (1) 関係4市の区域における農地の有効活用について、担い手支援センターの相談機能を発揮し、農用地利用円滑化事業をはじめとする各種制度を活用した調整活動を行い、関係機関・団体の適切な役割分担により円滑かつ効果的な展開に努めます。

また、担い手育成活動と農地の利用調整を併せて担う団体としての機能の発揮に十分努めます。

- (2) 道内での農地中間管理機構である（公財）北海道農業公社が行う農地中間管理事業等について、適切かつ円滑な活用が図られるよう道央地域における一部業務を受託業務として実施します。

【収益事業等】

1 農産物生産支援事業

地域農業の経営安定に資する次の事業に取り組みます。

- (1) 関係機関・民間団体等からの依頼により、公社圃場において新技術、新資材や新品種などの各種試験を実施します。
- (2) 関係機関・団体並びに生産組織との連携と役割分担により、地域ニーズに基づく各種栽培試験を農家圃場および公社圃場で実施するとともに、試験成績については、関係機関・団体を通じ各種栽培講習会などによりフィードバックします。

2 農業労働力確保支援事業

農業労働力確保のため道央農業協同組合が実施しているアグリサポート事業に関する次の事務にかかる業務を道央農業協同組合から受託します。

- (1) 農業者からの労賃徴収に関する事務
- (2) パート労働者への労賃支払いに関する事務

3 市営牧場管理受託事業

地域酪農経営の安定と労働軽減のため、次の事業に取り組みます。

(1) 千歳市営牧場

乳用育成牛の通年の管理をするとともに、放牧地の適正管理、良質な冬期飼料の確保、飼養管理技術の向上および防疫・衛生管理の徹底に努めます。

(2) 恵庭市営牧場

乳用育成牛の夏期放牧の管理をするとともに、放牧地の適正管理、飼養管理技術の向上および防疫・衛生管理の徹底に努めます。

【管理運営】

- (1) 昨年度に運営負担金の検討・協議を行い、本年度から実施される所でありましたが、新型コロナウイルスの影響のほか、人・農地プランの実質化、農福連携への取組みや職員の処遇の見直しなどの課題もあり、運営負担金の考え方について検討を行った所であります。

本年度は、これを踏まえ、公益目的事業及び収益事業の取組効果を考察し、新たに令和4年度～令和9年度までの5か年に関する事業構築に基づく運営負担金等の協議・検討を進めます。

- (2) 社会的に信頼され責任ある法人として、法令遵守と情報開示に努めるとともに、公益目的事業においてその目的に則した事業運営を推進します。

また、収益事業等においては、地域ニーズ等に対応した業務運営に努めます。

正味財産増減予算書総括表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	令和3年度補正 予算額 (A)	令和3年度 予算額 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産収益	0	0	0	
②基本財産運用益	0	0	0	
③運営負担金収益	63,294	63,294	0	
④事業収益	392,066	392,012	54	
⑤受取補助金等	0	0	0	
⑥雑収益	7,338	7,417	△ 79	
経常収益計	462,698	462,723	△ 25	
(2) 経常費用				
①基本財産繰入金支出	0	0	0	
②事業費	450,882	452,085	△ 1,203	
③管理費	11,170	10,638	532	
経常費用計	462,052	462,723	△ 671	
当期経常増減額	646	0	646	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
補助金返還金	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
補助金返還金	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	646	0	646	
一般正味財産期首残高	25,279	25,279	0	
一般正味財産期末残高	25,925	25,279	646	
II 指定正味財産増減の部			0	
①基本金受入	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高	10,000	10,000	0	
III 正味財産期末残高	35,925	35,279	646	

【参考】

収益合計	462,698	462,723	△ 25	
費用合計	462,052	462,723	△ 671	
差 引	646	0	646	

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計					法人会計	内部取引 控除	合計
	担い手の育成事業 (公1)	農用地の利用調整事 業(公2)	共通	小計	農産物生産支援事業 (収1)	農業労働力確保支援事 業(収2)	市営牧場管理受託事 業(収3)	共通	小計			
賃借料	1,033	1,455		2,488	1,225	64	184		1,473			3,961
車両費	206	0		206	280	0	852		1,132			1,338
燃料費	178	73		251	354	45	2,366		2,765			3,016
後継者育成費	1,915	0		1,915	0	0	0		0			1,915
推進費	0	0		0	0	0	0		0			0
施設管理費	214	135		349	232	85	302		619			968
租税・公課	945	676		1,621	485	65	374		924			2,545
負担金	0	2,655		2,655	9	0	15		24			2,679
農地利用集積事業支払補助金	0	0		0	0	0	0		0			0
図書費	34	0		34	18	0	0		18			52
経営体育成支払交付金	0	0		0	0	0	0		0			0
円滑化事業支払小作料	0	334,173		334,173	0	0	0		0			334,173
合理化事業支払小作料	0	0		0	0	0	0		0			0
保険料	0	0		0	0	0	110		110			110
飼料費	0	0		0	0	0	2,157		2,157			2,157
手数料	0	0		0	0	0	139		139			1,596
委託料	75	126		201	1,256	0	1,600		1,600			1,600
原材料費	0	0		0	1,602	0	12,559		14,201			14,201
事務費	0	0		0	0	0	0		0			0
消耗備品費	952	427		1,379	12	12	315		339			1,718
一般会計繰入金支出	0	0		0	0	0	0		0			0
雑費	15	71		86	11	2	38		51			137
予備費	0	0		0	0	0	0		0			0
②管理費	0	0		0	0	0	0		0			0
役員報酬												11,170
給料手当												0
臨時雇賃金												3,535
人材派遣料												0
退職金												0
退職給付費用												0
法定福利費												585
福利厚生費												51
給与負担金												3,364
旅費交通費												11
研修・講習会費												0
会議費												77
通信費												115
リース減価償却費												0
印刷消耗品費												566
水道光熱費												246
修繕費												88
賃借料												349
車両費												3
燃料費												173

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引 控除	合計	
	担い手の育成事業 (公1)	農用地の利用調整事 業(公2)	共通	小計	農産物生産支援事業 (収1)	農業労働力確保支援事 業(収2)	市営牧場管理受託事 業(収3)	共通				小計
後継者育成費										0		0
推進費										0		0
施設管理費										316		316
租税・公課										616		616
負担金										37		37
農地利用集積事業支払補助金										0		0
図書費										36		36
経営体育成支払交付金										0		0
円滑化事業支払小作料										0		0
合理化事業支払小作料										0		0
保険料										106		106
飼料費										0		0
手数料										577		577
委託料										0		0
原材料費										0		0
事務費										0		0
消耗備品費										136		136
一般会計繰入金支出										0		0
雑費										183		183
予備費										0		0
経常費用計	27,654	354,136	0	381,790	11,678	2,669	54,745	69,092	11,170	482,052		482,052
当期経常増減額	△ 64	△ 4	0	△ 68	27	36	10	73	641	0		646
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用												
補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 64	△ 4	0	△ 68	27	36	10	73	641	0		646
他会計振替額												
当期一般正味財産増減額	△ 64	△ 4	0	△ 68	27	36	10	73	641	0		646
一般正味財産期首残高												25,279
一般正味財産期末残高												25,925
II 指定正味財産増減の部												
① 基本金受入												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高												10,000
指定正味財産期末残高												10,000
III 正味財産期末残高												35,925

令和3年度 資金調達及び設備投資の見込みについて

事業年度 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定はありません。